

最近のまちの話題をお届けします

01

花と緑のまちなみコンテスト 最優秀賞作品決定



前田さんの作品

01

笠間市民憲章推進協議会 健康都市づくり実践活動委員会では、市民憲章にある美しくゆめのあるまちづくりを推進するため「花と緑のまちなみコンテスト」を実施しました。

20作品あった応募の中から、個人部門では前田春代さんが、団体・企業部門ではキャノンモールド株式会社管理部環境安全課の皆さんがそれぞれ、最優秀作品に選ばれました。



キャノンモールド株式会社管理部環境安全課の皆さんの作品



笠間特別観光大使の安達勇人さん（左から2番目）と新波の皆さん

03

笠間で野外音楽フェスを開催

11/21

笠間芸術の森公園の野外ステージで、音楽の力と笠間の食で市の魅力を伝えようと「レッツゲットアップ笠間チャリティーミュージックフェス」が開催されました。

会場内では地元飲食店がブースを出店し、野外フェスを食の面からサポートしてくれました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に役立ててほしいと、オリジナルグッズの売上げの一部が山口市長へ手渡されました。

02

歴史的に貴重な雛人形を 寄贈いただきました

11/19



左から、山口市長、國井さん。手には寄贈いただいた享保雛（1730年頃のもの）

02

笠間市在住の國井^{くにい こういち}高一さんより雛人形47点を寄贈していただきました。國井さんの出身は山形県河北町。河北町は江戸時代に紅花交易により栄え、京都交易の際に購入した雛人形を國井家で代々保存されてきました。

雛人形は江戸中期から末期時代につくられた大変貴重なものです。市民の皆さんに見ていただけるよう、雛祭りの時期に合わせて、市施設で展示します。





05

左から、川松副会長、安達会長、山口市長

05 長年の交通安全活動に対し県表彰

交通事故防止活動などの長年の尽力に対し、県から表彰を受けた笠間地区交通安全母の会連絡協議会の安達会長と川松副会長が、市長にその報告に来ていただきました。

安達会長は「今年は新型コロナの影響で多くの活動が中止になっていますが、立哨を中心に事故防止活動に励んでいます。このような賞をいただけて嬉しいです」と話しました。



04

滝野さん

04 発見!笠間のすごい人。 72歳で作家デビュー

たきの のぶゆき
滝野信幸さん（笠間在住）が、68歳から3年がかりで書き上げた、シリーズ小説「物言う花」1から4巻（全13巻）を出版し、72歳で作家デビューを果たしました。滝野さんは「たくさん苦勞をしてきたけれど書くことがとても楽しい」と話してくれました。



07

左から、今泉教育長、山口市長、友部二小 鳥沢さん、矢口校長

07 ジュニアアスリート第1期生決定

県では、今年度より全国大会やオリンピックなどで活躍できるアスリートの育成を行う、ジュニアアスリート育成事業を開始しました。

県内の小学4年生の中から30名が育成選手として選出され、市内からは、友部二小の鳥沢陽菜さんが見事選出されました。

栄えある第1期生として認定された鳥沢さんの今後の成長に期待です!



06

笠間高校・友部高校 JRC 部の皆さん

06 シトラスリボンで コロナ差別をなくしたい

12/7

笠間高校・友部高校 JRC部から笠間市へ、「シトラスリボン」1,100個が贈られました。

「シトラスリボン・プロジェクト」は、愛媛県の有志がはじめた取り組みで、シトラス色のリボンを身に着けることで、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表し、「ウイルスに感染しても、笑顔の暮らしを取り戻せる社会に」という想いが込められています。

いただいたリボンは、市議会議員、市職員が身に着け、生徒の皆さんの想いを地域の方たちにも広めていきたいと思えます。

